



## どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

### バイパス道路をつくります

### 地元の声

- ・県や市町村の連携を強化することで、災害から早期に復旧できるようにしてほしい (地元住民)
- ・災害時にも円滑に移動できるよう吉井ICへのアクセス性を高めてほしい (地元住民)

#### 事業前

◆朝・夕をピークとする慢性的な渋滞が発生しており、緊急輸送道路でありながら、円滑な通行に支障をきたしています。



事業前の状況

#### 事業後

◆バイパス整備により、現道の交通をバイパスに転換することで渋滞が解消され、災害時にも機能する安全な通行空間が確保されます。



事業後のイメージ (一例)

#### 事業の概要

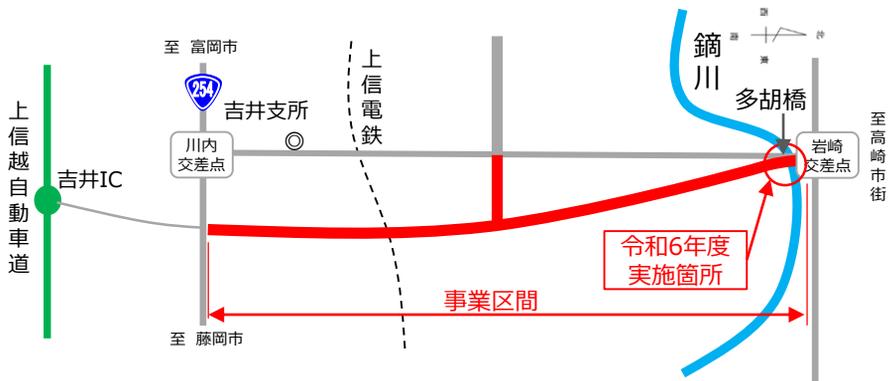
- 事業箇所：高崎市吉井町
- 事業内容：バイパス整備 延長1.9km 道路幅24.0m
- 事業期間：平成29年度～



## 事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)

### 今、何をしているか

令和6年度は、用地買収の進捗を図るとともに、多胡橋下部工工事を引き続き実施します。



#### 事業のすすみ具合

